

2014年度 出向報告書

公益社団法人日本青年会議所
2014年度 国家グループ
真の経済復興創造委員会 委員
松沢 裕太

1. 事業内容

(1) 日本経済を成長に導く中小零細企業戦略の推進

1. 国内におけるマクロ・ミクロ両面における経済復興の調査・研究・発信
2. 中小零細企業の成長戦略の調査・研究・実施
3. 未来の自由貿易を見据えたグローバルな視点での経済復興の調査・研究・発信
4. J C 議連等との経済復興に向けての連携
5. 国とのコラボレーションによる経済ネットワークの構築

(2) 国際社会との経済交流の推進

1. ロシア並びにアジア各国との経済交流事業の実施
2. G 2 0 Y E A サミットへの参加・対応
3. 各種青年経済団体との経済交流の実施

2. 所感

2014年度国家グループ真の経済復興創造委員会に出向させていただきました。当委員会では江口健太郎副委員長が担当する第三小委員会に所属させていただきました。第三小委員会の担いとしては日本・ロシア経済交流事業の構築と設営があり、私も微力ながらも参加させていただきました。私自身は一年間を振り返り、もっと積極的に参加するべきであったとの反省がありますが、未来を見据えた日ロの経済交流の事業構築に多少なりとも参加することができ、世界経済の視点について大変に多く学ばせていただきました。事前の現地視察及び事業当日におけるロシア訪問には参加していませんが、事業参加者や実際にロシア進出を計画されている方のお話を伺ったところ、言葉の壁や習慣の違いといったこともあり、多難な前途が予想されつつも、大きな可能性に満ちていることも理解できました。ロシアが日本の中小企業の実力を待望していることと、近年の日本を取り巻く経済とエネルギーの変化もあり、ロシアとの経済交流は今後大変に重要です。近現代史の事蹟を鑑みても明治維新での近代化の達成や戦後の復興では資源に乏しい我が国はチャレンジ精神を発揮し経済を支えてきました。ロシアとの経済交流はそうしたチャレンジ精神を発揮するものであると思います。

日本・ロシア経済交流以外では、今回の出向により委員の皆様と懇親会の席にて様々なお話を聞くことができた他、河崎雅樹委員長の本拠地である岡山県真庭市を訪問させていただいたことが深く印象に残りました。真庭は市の規模こそ大きくはありませんが、伝統的な町並みに風情があり、その保存と継承に地域の方々の愛郷心を強く感じました。また、津山 J C が中心になって地域のシンボルである津山城の失われた天守閣の姿を発泡スチロールにて復元して話題になったというお話も伺い、地域の受け継がれるものに愛着と情熱を持っているということに感銘を受けました。こうした地域の伝統的なものへの姿勢は普段長岡に暮らしていてほとんど感じるものがなかったので非常に印象深いものがありました。こうした地域の伝統を大事にする考え方も長

岡 J C において活動をする際にも心がけたいと思います。

一年間の出向では様々な貴重な経験をさせていただきました。佐田理事長はじめメンバーの皆様からは多くの励ましのお言葉とアドバイスをいただきました。ここに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。また、江口副委員長からは温かくご指導をいただきました。参画が不十分で大変にご迷惑をお掛けいたしました。出向メンバーの皆様とともにまれな経験をさせていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。